

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉原小学校 会長名 大前 隆

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 児童の安全確保と健康な心身の保持
 - (1) 生活安全標語の掲出
 - (2) 愛の一声運動（あいさつ運動）の実施
 - (3) ニュースポーツ「モルック」の開催
- 2 よりよい学習環境の整備
 - (1) 校内美化活動の実施
 - (2) 古紙、アルミ缶の回収
 - (3) ベルマークの回収、仕分け、集計作業

取り組みの効果

- ① 有
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

- 1 児童の安全確保と健康な心身の保持
 - (1) 今年度も多くの児童が、安全に生活するために必要な啓発標語を作成し、応募した。また、選出された標語を看板にして掲出するだけでなく、まちづくり推進会協力のもと、クリアファイルにして手元に置くことができた。これにより、児童・保護者・地域住民の生活安全に係る意識を高揚させることができた。
 - (2) 毎月15日に、正門とまちづくりセンター側通用門にて、あいさつ運動を実施した。自分から挨拶して、一日を気持ちよくスタートできる児童が増えてきた。
 - (3) 密にならず、互いに親睦を深められるスポーツとして、「モルック」を取り入れた。参加者全員、新しい種目を楽しみながら健康増進を図ることができた。
- 2 よりよい学習環境の整備
 - (1) 奉仕作業は、感染症対策のため、少数の役員有志のみで実施した。1階西側の壁面のペンキ塗りを実施し、明るい校舎に生まれ変わった。
 - (2) 古紙ボックスの回収が定着し、地域住民から多くの資源が寄せられている。さらに回収率を上げるため、まちづくり会報誌にも資源回収の記事を掲載し、地域への周知に努めた。収益は、学校の環境改善費用に充てることができた。
 - (3) ベルマークの回収に、地元企業が協力してくださり、多くの点数を集めることができた。ポイントは、環境美化に係る備品と交換することができた。

—反省点—

特になし。感染症対策のため、今年度も見直さざるを得ない事業があったが、その都度丁寧に協議した。会員の安全確保を第一に対応することができた。

—改善案—

特になし。来年度以降も創意ある活動を進めていきたい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立今泉小学校 会長名 山田 良子

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・今年度は、古紙回収、奉仕作業、学校行事への協力を中心にP T A活動を行った。コロナ禍であったため、例年のP T A活動は実施できなかった。

【今泉小 P T A】

- ・ P T A企画委員会・理事会
- ・ P T A総会 書面決議

【成人教育部】

- ・年2回「会報 いずみ」発行 (7月・3月)

【環境整備部】

- ・古紙・アルミ缶回収(4月) 奉仕作業(5月)

【体育保健部】

- ・運動会 駐車警備

【生活指導部】

- ・登下校の見守り
- ・かけこみ110番プレート点検・協力依頼

【家庭教育部】

- ・運動会受付
- ・コサージュ発注

取組の効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

－具体的な効果－

- ・ P T A活動の見直しの一つとして、古紙回収を廃止し、校内に古紙ボックスを設置した。回覧板にて、地域にも設置のお知らせを行った。
- ・企画委員会にて、役員を選出について話し合うことができた。P T Aの世帯が少なくなっている現状で、役員選出に無駄な時間を掛けていないか、また大役の企画委員の皆さんに負担がかかっていないのかなど、組織を見直す機会ができた。
- ・ P T A総会がなくなってしまったが、書面決議という方法があり、より多くの意を吸い上げることができた。
- ・運動会での警備や受付にご協力いただくことで、教員が児童の見守りや競技の準備に専念することができた。

－反省点－

- ・生活指導部が中心に行っている旗振り当番の状況を役員が把握できていない。
- ・ P T Aの役員選出方法について、さらなる改善はできなかった。

－改善案－

- ・活動の前に必要な部会を計画していただき、活動の把握を行うようにする。また振り返りも行い改善につなげる。
- ・来年度も企画委員の負担が多くならないように、会議への参加者を必要最低限の人数にする。
- ・役員選出については、早めに改善を進めていく。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立伝法小学校

会長名 高田 和幸

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

◎PTA 活動目標テーマ

未来の伝法に繋げよう ～すべては子どもたちのために～

- ・上記テーマの下、各部ごとにテーマの達成に向けた目標を掲げ、子どもを中心にした P T A 活動を計画していたが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響で十分な活動ができなかった。
- ・昨年度の反省を踏まえて活動計画を見直し、コロナ禍においても実施可能な形態を各会議で検討して、できる限りの取組を行った。

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・コロナ禍において、1年間 P T A として何ができるのか、何が必要なのかを学校や役員と様々な場面で協議し、今まで取り組んできた活動の意義や必要性を見つめ直すことができた。
- ・ P T A の活動として予定されていなかったコロナ禍における新たな学校行事や活動に、部を超えて、 P T A 役員で声を掛け合いみんなで協力することができたことで、互いに信頼関係も深まった。

—反省点—

—改善案—

- ・来年度も、昨年度、今年度の経験を活かし、「with コロナ」で計画を進めている。子どもたちだけではなく、保護者も学び、新しい生活様式に順応していきながら、新たな P T A 活動の在り方を考えていきたい。そして、新たな P T A 活動へのさらなる理解につながるよう、様々な取組についての広報・周知をしていきたい。

令和3年度 PTA活動最終報告

学校名 富士市立神戸小学校

会長名 内藤 達人

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①コロナ禍でもできるリサイクル活動。
- ②PTA組織再編成。(地区別会員数の差が大きい。会員全体数の減少を考慮して。)

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)
—具体的な効果—

- ①コロナ禍でも、回収方法や回収物を工夫することで神戸地区全体からの回収活動を行うことができた。この活動を通して、神戸地区各家庭との結びつきが深まった。
- ②PTA組織の再編成を行い、5専門部から3専門部に編成をし直した。各地区からの各専門部への選出数も調整し、選出の負担を軽減することができた。

—反省点—

- ①古紙回収ボックスを設置して、回収できない期間の投入をお願いしている。高齢の家庭、学校からの距離がある家庭では投入が難しい。
- ②ここ2年の実績を基に再編成、事業の見直しや担当部の再編成を行った。コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、実質PTA活動がほとんどできていない。役員も多くは2年任期で変わるため、活動を知っている役員がほとんどいない。今回の活動の分担が、各部均一にできているかは、今年1年の活動をみていくしかない。

—改善案—

- ①現在検討中
- ②今後の活動の様子をみながら、年度ごとに活動の分担を考えていく。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立元吉原小学校 会長名 高橋 信宏

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

保護者・学校・地域が協力して子供たちの豊かな教育環境を生み出すことを目指し、各部の活動を実施した。

- ・成人教育部→P T A新聞を年2回発行した。子供たちと保護者ができるだけ早く教職員のことを知って親近感がもてるよう、教職員紹介コーナーを充実させ、例年より早い時期に発行した。また、学校行事や授業の写真を多く掲載することで、学校の様子を分かりやすく伝えるように努めた。
- ・家庭教育委員→保護者に学校給食についての理解を深めてもらうため、給食試食会を計画した。(新型コロナ感染症拡大防止のため中止) また、卒業式で卒業生が胸に付けるコサージュを選び、注文した。
- ・生活指導部→子供たちが安全に登下校できるよう、見回りパトロール・交通安全指導を実施した。(交通安全を呼びかける看板を設置した) また、1・4年生の交通安全教室の補助を行った。
- ・体育保健部→子供たちが安心・安全に「えがオリンピック(運動会)」に臨めるよう、運動場のパトロールを実施したり、保護者に手指の消毒やマスクの着用を呼びかけたりした。また、学校近隣の臨時駐車場を安全に利用できるように、見回りを実施した。
- ・環境整備部→リサイクル業者の協力を得て常設の古紙回収コンテナを設置し、古紙回収を行った。また、年2回は、古紙回収強化週間を設け、保護者や地域に協力を呼びかけた。奉仕活動は新型コロナ感染症拡大防止を受けて中止した。

取り組みの効果

1. 有
2. 無(なぜ効果がでなかったのかを-反省点-に記入)

—具体的な効果—

- ・見回りパトロールや交通安全指導の実施により、子供たちの交通安全に対する意識を高めることができた。また、通学路の危険箇所を共有することができた。
- ・環境整備部の呼びかけで、地域から多くの古紙が集まった。収益金を、子供たちのために活用することができた。

—反省点—

- ・新型コロナ感染症拡大を考慮すると、新しい活動の計画や提案には至らなかった。また、例年行ってきた活動を中止したので、P T A活動全般への関心が高まらなかった。

—改善案—

- ・月一回開催している役員会(支部長会)でP T A会員の考えや思いを集約し、各部のよりよい活動に生かせるようにする。
- ・事務局と校内部長や各部の部長との連絡を密にし、効率よく活動を進められるようにする。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立東小学校 会長名 加藤 雅人

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

昨年度に引き続きコロナ禍における P T A 活動について。

(スポーツフェスティバル・P T A 奉仕作業など)

緊急事態宣言下においてやむを得ず中止とした活動が複数あり、昨年よりもさらに制約された中でしたが、様々な対策を講じ活動を行いました。

取り組みの効果

1. 有
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

緊急事態宣言下においてやむを得ず中止とした活動がいくつかあり、昨年よりもさらに制約された中での活動でしたが、その中で開催した行事においては、マスク着用や3密回避、事前検温や消毒の徹底など様々な策を講じた上で活動を行い、感染者を出すことなく無事に終えることができました。

—反省点—

—改善案—

今後いかにコロナと共存した中で活動を行っていくかが焦点となるため、これからの時代に対応した活動等を提案できればよかったのではないかと思います。

令和3年度 P T A活動最終報告
学校名 富士市立須津小学校 会長名 谷口 和也

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

今年度も、コロナ禍の中、必要最小限の活動と取組にせざるを得なかったが、一定の効果は得られた。地域の祭りやイベント等が開催されなかったことを要因にした活動減の状況を鑑みると、改めて地域とPTAとのつながりを感じられた。

来年度は、本年度のPTA会長が継続して役を勤めてくださることが決まったり、創立150周年記念式典が開催されたりすることもあり、より地域と学校とのつながりが深まることが期待される。その布石としての準備協議が、今年度、何度か会の話題にのぼった。

来年度は『PTA会長や本部役員会、各専門部会がどんな仕事をしているのか』を改めて保護者に周知したり、『より活動内容をスリム化しても、現状と同じような効果を期待できることはないか』と考えたりすることを通して、PTA活動をシンプルかつ魅力的で、身近なものにできるよう尽力していきたい。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

PTA 役員の選出方法の見直しや学校運営協議会への保護者参加、市P連主催のZoom講演の周知を推し進めた。

【生活指導】

安全の日の下校指導、校区内巡視は安全や命に関わることなので、確実に実施した。非常環境下でも実施できた。

【成人教育】

PTA 新聞の発行や同中学校区や須津地区への配布により、校内の様子と職員の名前と顔が周知できた。交流が持てない環境下では、貴重な情報源となった。

【体育保健】

運動会運営への協力、オリンピック・パラリンピックへの思いやパラスポーツへの理解を深めるためのボッチャの講習会を行った。

【環境整備】

PTA 奉仕作業を、親子でなく保護者のみの開催にした。12月に延期されたが、多くの保護者の力で校内が整備された。古紙回収の実施方法について、検討している。

【家庭教育】

給食試食会は、給食室工事のため、中止した。来年度は実施したい。

—反省点—

中止や延期された活動が多くあったため、引継ぎがなされているかを確認したい。

—改善案—

来年度以降も、感染対策に努めながら、少しずつPTA専門部活動を再開する中で、活動の見直し、精選を図りたい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第一小学校 会長名 仁藤 栄彦

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

5つの専門部がそれぞれめあてを決め、活動計画を立てていたが、コロナウイルス対策によりほとんどの活動が実施できなかった。

実施できたものとしては、生活指導部の登校時の交通指導と、成人教育部のP T A新聞の発行のみである。

取り組みの効果

1. **有**
 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
- 具体的な効果—

○生活指導部の交通指導の効果としては、児童の安全確保ができ、今年度、登校時の交通事故は0だった。

○P T A新聞の効果としては、今年度保護者が学校に来る機会が減ってしまったので、子供たちの様子が伝えられた。

—反省点—

- ・コロナウイルス対策で登校時刻が変更になり交通指導を行うことが困難になってしまったという課題もでてきた。

—改善案—

- ・P T Aの過度な負担にならないように、交通指導、実施回数の見直しを行った。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立吉永第二小学校

会長名 木内 章斗

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①年1回の朝のあいさつ運動（学校正門にて）
- ②P T Aリサイクル活動（年1回の古紙回収）
- ③P T A親子クリーン作戦（年1回の親子奉仕作業）
- ④スポーツフェスティバルへの協力
- ⑤P T A読み語りを実施（年1回）
- ⑥P T Aいちょう新聞の発行（年1回）

取り組みの効果

1. ①
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ①登校の様子を見守ることで、あいさつの声とともに1日が始まる生活リズムを構築することができた。
- ②1回の活動で得られた収益金を、児童の健康アプリの活用に生かすことができた。
- ③児童では手が届かない清掃（室内高所など）を行うことができた。地域のふれあいボランティアの皆さんにも参加していただくことで、樹木の選定や畑の整地、側溝の清掃などを行うことができた。
- ④教職員の人数が少ないため、看板設置など手が足りない部分を補うことができた。
- ⑤朝の活動時間に読み聞かせをすることで、児童が楽しい気持ちで朝のスタートを切ることができた。
- ⑥P T A活動がままならない中ではあったが、教職員のことや活動の様子を知らせることができた。

—反省点—

- ・児童減少に伴い、昨年度同様、活動内容をスリム化した。役員の負担が軽減した。
- ・学年単位で役員選出したため、あいさつ当番や古紙回収、かけこみ110番プレート等地区を通しての活動が難しい。

—改善案—

- ・子ども会と連携し、地区を通しての連絡・活動をしていく必要がある。
- ・令和4年度も、活動内容を見直していく。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立原田小学校

会長名 黒田 二美

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 古紙ステーションを活用しての古紙回収
- ② 校内美化活動
 - ・ 校舎回りの草刈り活動

取り組みの効果

1. ①
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ① 学校からのお知らせや回覧板にて、場所の周知を行い、地域の方にも協力を仰いだ。
従来の一括回収よりも、P T A役員の負担が減り、回収量も増やすことができた。
- ② 有志での個人単位の活動の呼び掛けを行った。
(特に日時・場所を指定せずに、できる人ができる時というように、気になった場所の清掃をお願いした。用具等は、学校で用意した。協力いただいた方に、記名をお願いした。)
暑い中でも、熱心に取り組んでいただき、校庭がきれいになった。

—反省点—

- ① 特になし。
- ② 暑い時期の取り組みとなってしまう、あまり参加者が多くならなかった。
大勢の人数でやることの良さもあるが、コロナ対応のため、昨年度に続いて今年度も仕方がなかったと思う。

—改善案—

- ① 継続的に、古紙回収の場所のお知らせを行っていく。
- ② コロナウイルス感染状況が改善されれば、例年通り、親子で参加できるような形に戻したい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第一小学校 会長名 加藤 直樹

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

【成人教育部】

- ・ P T A機関誌「ひろば」の発行(年2回) … 授業参観がなかなか実施できない状況であったので授業の様子を特集にした

【生活指導部】

- ・ 登下校時の安全確認活動 … P T A会員全員が年2～3回程度、当番制で登校の見守りを実施。
- ・ 地域の安全見守り…見守り110番の家の新規依頼、確認。

【環境整備部】

- ・ 古紙回収(年3回、古紙ステーションを利用)、奉仕作業。(年1回)

【体育保健部】

- ・ 大淵みんなのオリンピック(体育行事)への協力。

【家庭教育委員会】

- ・ お茶を楽しむ会…5年生を対象に大淵地区の特産の一つであるお茶に親しむ会を実施。JA茶業部会の方にも協力していただいた。
- ・ コサージュ準備、カードの作成 … 卒業生が卒業式につけるコサージュの準備をする。

【父親委員会】

- ・ 奉仕作業への協力、ビオトープなど環境整備活動

取り組みの効果

1. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

【成人教育部】

- ・ 機関誌を発行することで、実施できたP T A活動を全会員に知らせ、広めることができた。今年度も、最終号はコロナ禍において、授業参観等が中止になり、学校へ行けない保護者のために子どもたちの学校生活、授業の様子を伝える特集を組んだ。

【生活指導部】

- ・ P T A会員全員が年3回程度、当番制で登校の見守りを行うことで、みんなで子どもの安全を守る意識ができた。

【環境整備部】

- ・ 古紙回収ステーションを利用し、実施した。古紙ステーションでの実施も定着してきた。会員の家庭だけでなく、地域にも案内を回覧し、地域の協力を得て、多くの古紙を回収することができた。

【家庭教育委員会】

- ・ 昨年度はコロナのため中止になったが、場所や取組み方を工夫した。子どもたちがお茶の入れ方の違いによる味の変化などを実感することができた。

—反省点—

▽今年度も新型コロナウイルスの影響で多くの事業が中止となった。また、体育館改修工事とも重なり、事業の実施が難しかったものもあった。

—改善案—

◇コロナ禍においても、取組み方を工夫し、実施できた事業のあったので今後も事業の見直しを行っていく必要がある。(場所、人数、活動など)そして、多くの会員が気軽に参加できる方法を考えていきたい。

◇P T A各事業において、コロナ対策を十分に行い、そのアナウンスをしっかりと行うことで安心して参加していただきたい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立大淵第二小学校 会長名 羽田 幸治

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

<成人教育・生活指導部>

- ・通学路の確認・危険個所の点検・かけこみ110番の家の確認・奉仕作業への協力
- ・運動会への協力

<体育保健・環境整備部>

- ・奉仕作業（2回）・リサイクルボックス設置（4回）・運動会への協力

<家庭教育委員会>

- ・卒業生コサージュ準備

<本部主催>

- ・緑の少年団交流集会での児童現地指導

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

コロナ禍の中、計画されていた会議は中止になることが多かったです。書面で PTA 会員の皆様へお伝えする事もありました。

そのような中でも、奉仕作業は感染防止を心掛けながら行うことができました。運動会も、全会員で支度や片づけをしました。リサイクル活動は、ボックスに各自入れていただく形をとっていたので、問題なく行えました。有効な感染防止対策が分かってきたおかげで、どうしたら活動が行えるかが分かってきて、昨年度より PTA 活動を行うことができたのが、最大の成果です。

－反省点－

特にありません。

－改善案－

改善ではありませんが、令和5年度の大淵第一小学校への編入を控え、PTA 活動も編入を行っていくこととなります。令和4年度のうちにやっておくことを見極めて、大淵第一小 PTA と連絡を取り合いながら活動を進めていきます。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第一小学校

会長名 川口 和宏

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①昨年度水泳の授業を行っていなかったことで、プールが大変汚れていたこともあり、本年度はPTA活動としてプール清掃を行った。
- ②コロナ禍でも持続可能なPTA活動にするため、各種会議のオンライン化を進めた。
- ③今後の本校PTA活動についての意見をいただくため、アンケートをとったり、有志で語り合う機会を設けたりした。
- ④学区内主要横断歩道における、登校時の旗振り当番を年間通して行った。
- ⑤卒業生へのコサージュ作製を授産所へ委託した。
- ⑥アルミ缶の回収袋を昇降口に常時設置して、回収活動を行った。

取り組みの効果

1. **有**
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

- ①多くの大人の手でプール清掃をすることで、効率よく行え、子どもたちが余裕をもって仕上げの掃除をすることができた。来年度もPTA活動として行う予定である。
- ②会議をオンラインにしたことで、密を回避しつつ、より参加しやすくなった。
- ③PTA会員の率直な意見や、持続可能なPTA活動にするための様々な意見が聞けた。それらをもとに、来年度以降は部を統合し、活動ごとに有志のPTA会員を募り、役員（各部員）を選出しなくてもよいシステムにすること、また本部役員の立候補制をとることを提案し、来年度移行期間として取り組むことを決めた。
- ④登校時の旗振り当番は、年間を通して全世帯にお願いして実施することで、子どもたちの交通安全意識を高められたとともに、PTA会員にも「地域の子どもは地域で見守る」という意識を高めることができた。また今年度より旗振り当番セットを地区毎に持つことで、地区間の受け渡しを無くして、役員の負担軽減へつなげることができた。

－反省点－

- ②オンライン会議は効果的な面もある一方、意見を言いにくかったり、接続が上手くいかず、参加できない方がいたりすることがあった。

－改善案－

- ②オンライン会議は、初めて参加する方は必ずテスト接続をしてもらうこと。また、意見を言いやすくするため、小グループ（Zoomでは「ブレイクアウトルーム」）で話し合えるような場面も設定したい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士第二小学校

会長名 栗田雅和

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ①水戸島2丁目交差点付近に学童注意のプレート看板を設置した。
- ②旗振りの旗を地域で回すのをやめ、各家庭に1本ずつ配布した。
- ③PTA制度のあり方の検討

取り組みの効果

① 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

①交差点付近の事業者様にご協力いただき、プレート看板を設置できたことで、通行する車への注意喚起ができた。通学する児童も危険個所の意識が高まった。

②令和4年度5月より実施。次年度より生活指導部員の負担軽減となり、プライバシーを守りたいご家庭のニーズにも対応できる。

—反省点—

10月ごろよりPTAの在り方についての検討が急に必要になり、議論する時間が全く足りなかった。時間をかけて検討していかなければならないこともあるが、ただ長年の慣習となっているだけみたいなものもかなり見つかり、普段から改善を意識しなければならぬと感じた。

—改善案—

③PTA 退会希望者への対応、各部役員の選出方法、不要なイベントの洗い出し、会則の改定、作成資料の軽減、街づくり協議会への旗振りの応援要請、全会員への一斉アンケートなどを検討し、実施した。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立田子浦小学校 会長名 野村 理紗

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

(1) P T A役員選出方法の変更とP T A活動の精選について

- ・ P T A理事会 (4・10・11・3月)
- ・ P T A役員選出に関するアンケートの実施
- ・ P T A理事会議事録、P T A意見箱の設置
- ・ 臨時企画会 (5・7・11月)

(2) 取り組みの効果

① 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

ー具体的な効果ー

- ・ 会員の方々にアンケートを実施しながら、役員選出方法や活動の精選について、企画会や理事会で話し合い、実践していった。

例：古紙回収日をなくし、古紙回収ボックスでの回収とした。

奉仕作業を年に1度とした。

ー反省点ー

- ・ コロナ禍で、卒業生コサージュ作り、新聞作り以外の活動は行えなかった。

ー改善案ー

- ・ 来年度の役員・部員選出を、4年役を2年役とし、地区選出を学級選出とする提案を行う。

(3) その他の活動について

- ・ P T A総会資料書面決議
- ・ 古紙回収ボックス常時開放
- ・ 卒業生コサージュ作り
- ・ P T A新聞発行 (7・3月)

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松小学校 P T A

会長名 板重 裕明

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

「with コロナの時代」に合わせた活動を模索してきました。「誰が触れたか分からない古紙やアルミ缶を扱うのは不安。」「密を避けての実施は難しい。」と中止を余儀なくされる行事が多かった中で、ベルマークを部員が持ち帰って整理したり、プール再開に合わせてプール清掃の補助をしたりと、「できる時に、できる者が、できることを」のボランティア精神で取り組んできました。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

振り回されるばかりの昨年度と比べると、本年度は「コロナありき」で計画したため、ある程度事前の準備や心構えができました。

PTA 総会は、事前に議案書を会員に配布しておき、学級懇談会に合わせて開催しました。会員は各教室に分かれて、テレビ放送を使って進行しました。質問やご意見があれば、各教室にいる担任に伝え、後から回答する形にしました。事前に議案書を配布しておくことで、じっくり目を通す時間が取れること、総会の時間を短縮できることなど、利点が多く令和4年度もこの形で行きたいと思っています。

－反省点－

テレビ放送を使った P T A 総会は、会員の評判も良くまずまずの成功と言えますが、教室にあるテレビ画面のサイズが小さく、役員の顔が見にくいという声もあり、改善が必要です。

これまで通りの計画では、実施不可能な行事が多く、部によってはほとんど満足な活動ができないこともありました。組織の改編や P T A 活動の考え方等、根本的に見直す必要があります。

－改善案－

PTA 総会については、各教室に分かれての分散実施とし、GIGA タブレットを活用したりリモートでの開催を検討しています。プロジェクターを利用することで、大画面で見やすくなることが期待できます。

これまでの P T A 活動の見直しと合わせて、組織の改編を検討しています。令和3年度の理事会では、定数の是正を検討しましたが、令和4年度は現在5部に分かれて活動していますが、この部の再編を検討する予定です。令和5年度からは新体制となり、少人数でフットワークの良い活動が期待できます。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立鷹岡小学校 会長名 山下 千絵

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・ P T A総会の運営（紙面開催4月）
- ・ 親子で確認!かけこみ 110 番のいえ（5 / 12）
- ・ インディアカ、ファミリーバドミントン（通年）
- ・ 資源回収（通年）
- ・ 奉仕作業（11 / 20）
- ・ P T A新聞の発行（3回）
- ・ コサージュ作り
- ・ 鷹っ子ハロウィン仮装コンテスト（10月中旬）

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ・ 親子で確認!かけこみ 110 番のいえは、学校の引き取り訓練と連携し、親子で通学路を歩きながら、「かけこみ 110 番のいえ」の場所を確認した。保護者も通学路の危険箇所を確認でき、子供の防犯意識を高めることができた。また、地震発生時に家庭に戻るか学校に行くかを判断する場所の確認もした。発災時についての意識も高めることができた。
- ・ 奉仕作業では、コロナ禍で普段行き届かない場所の掃除を行うことができ、子供が毎日気持ちよく生活できる環境整備ができた。また、保護者と教職員と一緒に活動することで、交流が深まった。
- ・ 鷹っ子ハロウィン仮装コンテストは、写真でのコンテストのため安心して行えた。全校を巻き込んだ行事となり大変好評であった。

—反省点—

- ・ 先行きが不透明な中での取り組みであったため、中止せざるを得ない活動があった。特に、子供が参加する行事や、学校行事への関わりが減っている。
- ・ 中止や規模の縮小等があったため、参加が限られた人になっている。

—改善案—

- ・ 各行事の運営や募集について、参加者が増えるように早めに募集したり、活動内容を詳しく伝えたり工夫していく。
- ・ 行事については、コロナ以前に戻すという意識から、改めて取り組み方を見直し精選していく。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立広見小学校 会長名 佐藤 祐樹

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 成人教育部・・・P T A新聞やホームページによるP T A活動の啓蒙
- 環境整備部・・・古紙回収、奉仕作業
- 生活指導部・・・1年生の交通教室の協力、かけこみ110番の家の確認
- 体育保健部・・・体育祭への協力
- その他

- ・昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初の予定よりも理事会や専門部会の実施回数を減らした。また、計画していた活動を見直し、回数や実施方法を変更した。
- ・理事会や専門部会等の時間を明確にする。負担感を減らすため、理事会は19時から、専門部会は、19時30分から実施した。(全ての会議を1時間以内で実施)また、専門部会については、ほぼ実施しなかった。
- ・今までのP T A行事の意味を再確認し、必要な行事のみを実施する。
- ・令和4年からP T A組織を見直し、部員制度を廃止した。

取り組みの効果

1. (有) 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

成人教育部

- ・日々の教育活動やP T A活動を知ってもらえる機会となった。また、学校での新型コロナウイルス感染症防止に向けての取組を家庭に紹介することができた。

環境整備部

- ・密を避けながら地域の協力を得て、古紙回収を実施した。また、高齢で古紙を運び出すのに大変な家庭を訪問し、回収を行った。

生活指導部

- ・かけこみ110番の家を再確認し、携帯等から検索できるシステムを導入した。また地域の危険箇所について確認し、改善のための提案をした。

体育保健部

- ・密を避けながら、子どもたちの活動を支えることができた。

その他

- ・理事会を19時より実施した。専門部会については、必要のあるときだけ実施した。理事会前に正副会長会を行うことにより、理事会の時間を短縮することができた。
- ・オンラインで理事会に参加できるので、時間や場所に縛られることなく参加することができるようになった。

—反省点—

- ・特になし

—改善案—

- ・今年度、実施しなかったことや実施しなくても困らなかった活動等を洗い出し、来年度の活動につなげていく。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 丘小学校 会長名 後藤 彰広

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

■事業について

以下のとおりコロナ禍においても実施可能な事業を検討し実施した。

- ・ 各専門部会におけるオンライン会議ツールの利用やPTA新聞のウェブ掲載など、デジタル技術の活用を進めた。
- ・ 密を避け家族で参加できる「秋の親子ウォークラリー」を開催した。

■その他

- ・ 広く会員からの意見を聞くために会員向けアンケートを実施した。また学校へ「PTA御意見箱」を設置した。
- ・ 各専門部の体制見直しを行い、役員数の適正化を行った。

取り組みの効果

1. 有 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

ー具体的な効果ー

- ・ オンライン会議ツールの活用により、コロナの影響で学校へ役員が集合しての会議が困難な状況であっても、各専門部会での協議を進めることができた。併せて役員の会議開催への負担軽減へも繋がった
- ・ コロナ禍でも実施できる事業を検討することで、これまで実施してきた事業を良い意味で見直すことに繋がり、時代に合った新たな事業を創出することができた。
- ・ 各種イベントが実施できず会員から意見を聞く機会が少なかったが、アンケートを実施することで会員からの意見を聞くことができた。

ー反省点ー

- ・ オンライン会議は役員間のコミュニケーションが希薄になりがちであった。

ー改善案ー

- ・ コロナ禍に対応した形で役員間のコミュニケーションを深める工夫をしていきたい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士見台小学校 会長名 下田良秀

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・PTA イベント 「スイングマミー」吹奏楽演奏
(1・2年、3・4年、5・6年 それぞれ20分間)

取り組みの効果

- ①. 有 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- ・学校行事の一環として位置づけてあったため、学校と PTA が協力して会を開くことができた。
- ・PTA 役員の知り合いの団体に依頼をしたため、交渉はすべて役員が行った。
- ・子どもの動きやイベントの司会は、教師が行った。
- ・コロナ禍で、去年は鑑賞イベントが全くできなかったもので、子どもはとても喜んでいて、全児童が楽しむことができた。(事前に、演奏してほしい曲のアンケートを子どもにとってくれた。)

—反省点—

- ・特になし

—改善案—

- ・もともとは保護者にも聴いてもらう予定だったが、感染状況を考えて児童だけにしたので、来年度は、保護者にも呼び掛けて実施したい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士南小学校 会長名 鈴木 真治郎

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ・成人教育部 ききょう新聞発行（年2回）
- ・生活指導部 交通安全街頭指導 1年・4年交通教室への協力
- ・環境整備部 奉仕作業主催 古紙回収
- ・体育保健部 運動会協力
- ・家庭教育部 給食新聞発行 運動会ご褒美配布
- ・父親クラブ 奉仕作業協力

取り組みの効果

1. **有** 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）
－具体的な効果－

- ・成人教育部 2回の PTA 新聞を発行することができた。学校と協力して、会員の皆様が楽しめる新聞を作成することができた。
- ・生活指導部 コロナ禍の中でも、各地域での連絡方法等を工夫して交通安全街頭指導、パトロールを実施できた。
- ・環境整備部 奉仕作業では、小雨の中、短時間で運動場、校庭、校舎内等をきれいにすることができた。新しい古紙回収の実施方法を初めて実施し、地域や PTA 部員の負担を軽減した。
- ・体育保健部 運動会の駐輪場の設置、見回り、パトロール等、運動会運営の協力をスムーズに行うことができた。
- ・家庭教育部 コロナ禍の中、給食試食会が実施できなかった代わりに、「給食新聞」を発行し、給食の内容を発信することができた。
- ・父親クラブ 「学校のかいだん」に替わる新たな行事を計画したが、コロナ禍で実施できなかった。各専門部の補助を行った。

－反省点－

- ・運動会では、『駐車禁止』の札を持って立っていたにも関わらず、車を停めてくる人がいた。
- ・運動会のご褒美の包装を理事のみで行ったため、長時間かかってしまった。
- ・奉仕作業の前に部員の仕事の縮小を考え、部会を開催しなかったが、当日、部員がどのように動いたか把握できなかった。

－改善案－

- ・来年度、奉仕作業の前には部会を開催して部員の仕事の流れを確認する。
- ・古紙回収のやり方を、次年度も少し変えるので周知徹底したい。
- ・各地区のパトロール表、旗振り表の確認以外にも、ベストや旗の数も確認しておく。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立天間小学校 会長名 松原 瞳

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- 1 コロナ禍でのP T A活動を考える
- 2 P T A会則改正後の新体制による運営、活動の実施
 - ・平成30年度、31年度に、P T A会則を改正した。(本部役員・各専門部役員の選出方法を地区制から学年制に変更。各部員の構成を4、5年生のP T A会員全員に変更。)本年度は改正から2年目となり、新体制での運営・活動を引き続き行った。
- 3 P T Aへの加入手順の整備
 - ・加入に際し、事前の説明と加入確認書の提出の手順を取るよう取り組み始めた。
 - ・新1年生入学説明会でのP T A団体、P T A活動についての説明をした。また、4月新1年生の家庭にP T A確認書提出をお願いした。
- 4 各専門部の活動
 - 【各専門部で輪番】
 - ・毎月15日を基準に、学区内3か所にて朝の登校指導を行う。(各専門部で輪番で担当)
 - 【成人教育部】
 - ・P T A新聞作成に向けた取材活動は少ない人数で実施した。
 - ・P T A新聞年2回発行。(例年通りの紙面内容)
 - 【生活指導部】
 - ・かけ込み110番の家への挨拶は郵送にて行った。
 - ・長期休み明け登校指導に、全家庭年1回、協力していただいた。
 - ・各家庭に安全ベストを配付し、登校指導、P T A活動時への着用をお願いした。
 - 【環境整備部】
 - ・地域の協力を得て、コロナ禍でも米作り活動を実施することができた。その米づくりの各作業に協力した。
 - ・古紙、アルミ缶を学校にて常時回収した。
 - 【体育保健部】
 - ・毎週金曜日インディアカ教室実施。(6月～1月)
※実施に際しては、コロナウイルス感染拡大状況や施設利用条件に基づき、中止した期間もある。
 - ・体育的行事では、用具の準備・片付け、消毒作業の支援を行った。
 - 【家庭教育委員】
 - ・例年6年生保護者に作成していただいていた卒業生へのコサージュは、人が集まることを避けるため、完成品の購入に変更した。

取り組みの効果

1. **有** 2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

—具体的な効果—

- 1 コロナ禍でのP T A活動を考える
 - ・コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を規模縮小又は中止とした。
感染拡大状況を踏まえ、無理をせず可能な範囲で活動を実施した。
- 2 P T A会則改正後の新体制による運営、活動の実施
 - ・役員選出に際しては、改正された方法が保護者に浸透してきて、今年度も役員を順調に選出できた。

3 各専門部の活動

【成人教育部】

- ・PTA活動、学校行事が昨年度よりは実施できたものが多く、取材活動もほぼ例年通りに行うことができた。
- ・取材時のカメラの確保が課題であったため、成人教育部でデジタルカメラを購入した。取材活動で有効活用することができた。
- ・3月には、紙面内容を例年通りに戻し、1年間の活動を伝える新聞を発行することができた。

【生活指導部】

- ・長期休み明け登校指導は2年目を迎え、担当の割り振り、お知らせ配付等の流れが確立してきた。保護者の協力も得られている。
- ・各家庭に配付している安全ベストの着用率も高くなってきている。

【環境整備部】

- ・コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、米作り活動を支援することができた。学校、地域、PTAとの連携・協力体制が確立してきている。
- ・古紙、アルミ缶回収のお知らせを地域にも発信したことで、保護者だけでなく地域の方からも回収に協力していただいた。回収結果については、PTA新聞に掲載した。

【体育保健部】

- ・コロナウイルス感染拡大状況を踏まえながら、インディアカ教室を行った。保護者の交流、健康増進の場となった。

ー反省点ー

1 コロナ禍でのPTA活動を考える

- ・コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの活動を中止または規模縮小とした。給食試食会、奉仕作業等実施できなかったものもある。昨年度同様、実施についての判断の難しさを感じた。

3 各専門部の活動

【環境整備部】

- ・奉仕作業の実施ができず、実施時期や方法等、工夫する必要があると感じた。

【生活指導部】

- ・長期休み明け登校指導は、担当日及び場所のお知らせを7月に一斉配付している。そのため、実施日までに間があいてしまうため、休み明け前日にまちコミメール等でお知らせをしたい。

ー改善案ー

1 コロナ禍でのPTA活動を考える

- ・令和4年度も、コロナウイルス感染拡大防止に努め、状況に応じながら実施できる活動は実施できるようにしていきたいと思う。
- ・コロナウイルス感染症拡大状況を見据えた計画を立てる。

2 PTA会則改正後の新体制による運営、活動の実施

- ・引き続き、役員選出に関する情報を保護者に発信し、支障なく役員選出ができるように努めたい。

3 各専門部の活動

- ・「誰でもできる活動」にするため、各部の活動内容をさらに見直し、活動の精選を図りたい。
- ・コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、各専門部の活動について、活動内容の変更、実施方法の工夫等を図っていく。
- ・古紙、アルミ缶の回収への協力を家庭だけでなく地域へも継続してお願いする。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 岩松北小学校 会長名 佐藤 寛之

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

校内清掃活動

プール清掃

トイレ清掃

取り組みの効果

1. 有

－具体的な効果－

プール清掃

足元がぬるぬるして滑ることがなくなった為、子供たちが安全にプールを使うことが出来た

トイレ清掃

毎年行っている為、トイレが臭わない学校として有名

－反省点－

なし

－改善案－

なし

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立青葉台小学校 会長名 橋本 康孝

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

PTA活動の見直しと組織の改編(コロナ禍への対応と持続可能なPTA活動への変革)

取り組みの効果

1. 有
2. 無 (なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入)

— 具体的な効果 —

PTA活動としては、本当に必要な活動は何かを見直した。そこで中心となったのが子供たち(学校)に必要な活動とは何かを大切に見直した。

奉仕作業(年2回) → 薬剤の散布を行い、短い時間で作業できるように効率化し、一か所に集まらずに終了とともに解散できるようにした。

PTA組織改編 → 専門部の部員を兼ねるようにした。例年5つの部に各地区部員を出していたため最低5人は必要だったところ、2つの部を兼ねるように部員を設定したよって地区3名で済むようになった。

— 反省点 —

— 改善案 —

今後は、専門部の改編にも手を付けていきたい。学校行事も精選されている中、はっきり言って活動に困る部も出てきている。PTA部員を減らすことができたので、今一度活動内容を見直して組織の在り方をもう一度考えていきたい。

これは、提案になりますが・・・

本校はPTA加入率100%であるが、そうでないところもあると聞く。今後のPTAへの加入の仕方や呼び掛けの方法など、もう少し統一形式をとることはできないだろうか。せっかく市P連という取りまとめる組織があるのであれば、しない小学校に入学する保護者に向けて意義や加入を勧めるアナウンスをすることで、各校の会長が加入の勧めをしやすくなるのではないか。特に来年度あたりからPTA会費が公会計化されると聞く。それならば、より一層全員が加入していただける方法を模索していく必要があると考える。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士市立富士川第一小学校 会長名 望月 知己

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

・ P T Aふれあいフェスタ

全校児童・保護者・地域の方に呼び掛けて行う活動。今年度は昨年度に引き続きコロナ禍での開催となった為、模擬店やバザーの販売、外部団体の参加を中止とし、感染予防対策を講じたうえで、児童、教職員、PTA 本部及び各専門部員のみでの参加で、スタンプラリー、クイズ、ちりめんモンスターと食品の事前注文を計画した。また、昨年同様、6年生が修学旅行を控えていた為、年間計画当初の開催日を変更しての開催とした。

取り組みの効果

1. 有
2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

－具体的な効果－

・ P T Aふれあいフェスタ

開催予定時期にはコロナ変異株の蔓延もまだ発生しておらず、富士市内の感染状況も比較的安定期にあった為、当初の計画通りフェスタを開催した。コロナ以前と比較してしまうと、開催を見合わせた模擬店や外部団体参加イベントもあるが、こうした状況下にあっても開催できることがあるということを証明できた。コロナ禍において、打ち合わせ人数の制限（密集を防止するため、全体会議の回避）等もあったが、教職員、PTA 会員の相互コミュニケーションによって、大きな混乱もなく開催できた。

－反省点－

・ P T Aふれあいフェスタ

昨年同様、参加賞の景品に余剰が出てしまった。また、これまでに開催したことのない方式であった為、事前のアナウンスの中で、フロー表や詳細なマップ等、低学年から高学年までわかりやすい資料を作成して配布するべきであった。また、人数に制限があった為、難しかった面もあるが、校内に総合案内所のようなスペースを設けてもよかったと感じる。

－改善案－

・ P T Aふれあいフェスタ

事前に周知すべき項目の洗い出しを行って、配布資料のブラッシュアップを行う。クイズイベントは子どもたちによって難易度の捉え方が変わるので、掲示物作成前に教職員、各専門部役員に目を通してもらう。来年度は外部団体、コミュニティスクールとも連携して、感染防止策を十分練ったうえで、地域の方にも一部参加してもらいたい。

令和3年度 P T A活動最終報告

学校名 富士川第二小学校 会長名 佐野 嘉彦

令和3年度重点活動の具体的な取り組み内容

- ① 情報モラル講座の開催
- ② 「かけこみ 110 番の家」登録依頼
- ③ PTA 新聞の作成
- ④ 小中合同講演会
- ⑤ 奉仕作業（草取り、せん定、排水溝の土砂取り、池の清掃、トイレ清掃）の実施
- ⑥ 登校時における交通指導
- ⑦ 校舎お別れイベントの実施 第1弾「THE 夜会」
第2弾「校舎お別れの集い」

取り組みの効果

1. ⑦ 2. 無（なぜ効果がでなかったのかを - 反省点 - に記入）

—具体的な効果—

- ① 情報モラル教育として、4・5年生児童を対象にスマホに関する絵本の読み聞かせや SNS の危険性について講演をした。スマホとの付き合い方や SNS に写真をあげる危険性等を伝えることができた。事前アンケートをまとめ、保護者に配付することで、保護者の意識を高めることもできた。
- ② 「かけこみ 110 番の家」の登録件数を増やすことができた。地域の協力を得て、登下校中の安全を確保できた。
- ⑤ 奉仕活動により、普段は手の行き届かない運動場やトイレの環境を整備することができた。
- ⑥ 登校時における交通指導と見守りを行ったことで児童の安全が保たれた。
- ⑦ 子供たちの思い出作りを行うことができた。

—反省点—

- ・ 校舎お別れイベントの計画や準備のため本部役員の負担が増してしまった。

—改善案—

- ・ 各事業の改善点やよかった点などから見直しを行い、今後の活動につなげられるようにする。
- ・ 来年度から施設一体型の小中一貫校となり、いずれ P T A も一つに統合していく予定なので、小学部と中学部の P T A 組織や活動内容を少しずつそろえていく。